

県公連負担金五割増を検討

自治短期大学 (仮称) 建設など話しあう

「十一月十六日、長が立ち、社会教育の重要性について理事を終了後、自治短期大学 (仮称) 建設など話しあう」とのことであるが、この理事会で初め、県公民館長期講習会に改め、社会教育の中心指導との合同会議が開かれた。町村会が八輪について進めたいという意向で、会長以下十四名の理事、本会からは安沢、長がおおむね次のことが話しあわれた。

①自治短期大学 (仮称) 建設については、町村会側でも「先年、県費を提案した折にすでに派派施設をもつて成果をあげているに、県費、町村会員の基礎教育、技術、養育、めつ専門、学校方式の施設を、ついで、いもの、と、今後、あらゆる関係方面とも折衝しながら、国休終了後、自治短期大学 (仮称) 建設など話しあう」とのことであるが、この理事会で初め、県公民館長期講習会に改め、社会教育の中心指導との合同会議が開かれた。町村会が八輪について進めたいという意向で、会長以下十四名の理事、本会からは安沢、長がおおむね次のことが話しあわれた。



【写真は自治会館における合同会議、町村会 (右) 県公連・県教委 (左)】

「町村会各理事を代表し、山田同事務局長から「新潟大火でほとんどの資料を焼失したとのことであるが、よくこれだけのものをまとめたものと敬服している。二、三の希望を申し述べる。」と、三の希望を申し述べる。」

建設へのムードを盛り上げた、「自治短期大学 (仮称) 建設など話しあう」とのことであるが、この理事会で初め、県公民館長期講習会に改め、社会教育の中心指導との合同会議が開かれた。町村会が八輪について進めたいという意向で、会長以下十四名の理事、本会からは安沢、長がおおむね次のことが話しあわれた。

と、県町村会長の祝辞を入れてほしかったこと。年譜を入れてほしかったことである」との評があった。

④県公民館の各都市負担金は従来人口一人当り十銭であったが、本年度は諸物価の高騰で、支出が予算をオーバーすることが多く、運営費に困難をきたしている。今後ますます活発な活動を展開していくうえには、ぜひ五割程度の負担金の増額をしていただかなければならない。県町村会長の格別のご理解によりこれへの承認を得たい」との本会の申し入れに対し、県町村会理事会で全委員一致しての承認を得たことにより、従来一人当り十銭は新年度より十五銭に値上げについての明るい見通しが生れた。

栃尾で第三回主事幹事会

織物産出年間五十億、議長杉野副幹事長で協議に入った以上を誇る栃尾市織物が、大要次のことが話しあわれた。組合会議室で第三回主事幹事会が開催された。地元倉庫長をはじめ、県側から伊藤社、教主事ほか藤原常任理事なども列席、飯沼幹事長以下十八名が出席した。

熊谷中央公民館長の歓迎あいさつがあり、

第五回理事会

十一月十六日の夜は望まない、とのことと説明、町村会との合同会議の結果、各都市公連負担金の五割程度の増額、県費助成金の増額、月報購読費の若干の増額等の必要を認め、きたる一月開催予定の評議員会でこれへの承認を求めるとのことになった。

このほか、明年度事業計画について、本年度決算案、町村会理事会との合同会議にのぞむ議案について、本年決定されたが、詳細については追って掲載する。

明年度計画を検討

終了後、町村会合同会議に望む。十一月十六日の夜は望まない、とのことと説明、町村会との合同会議の結果、各都市公連負担金の五割程度の増額、県費助成金の増額、月報購読費の若干の増額等の必要を認め、きたる一月開催予定の評議員会でこれへの承認を求めるとのことになった。

このほか、明年度事業計画について、本年度決算案、町村会理事会との合同会議にのぞむ議案について、本年決定されたが、詳細については追って掲載する。

織物産出年間五十億、議長杉野副幹事長で協議に入った以上を誇る栃尾市織物が、大要次のことが話しあわれた。組合会議室で第三回主事幹事会が開催された。地元倉庫長をはじめ、県側から伊藤社、教主事ほか藤原常任理事なども列席、飯沼幹事長以下十八名が出席した。

熊谷中央公民館長の歓迎あいさつがあり、

実態調査結果の対策練る

町村会との合同会議の結果、各都市公連負担金の五割程度の増額、県費助成金の増額、月報購読費の若干の増額等の必要を認め、きたる一月開催予定の評議員会でこれへの承認を求めるとのことになった。

このほか、明年度事業計画について、本年度決算案、町村会理事会との合同会議にのぞむ議案について、本年決定されたが、詳細については追って掲載する。

県公連運営費の増額問題も話題に

町村会との合同会議の結果、各都市公連負担金の五割程度の増額、県費助成金の増額、月報購読費の若干の増額等の必要を認め、きたる一月開催予定の評議員会でこれへの承認を求めるとのことになった。

このほか、明年度事業計画について、本年度決算案、町村会理事会との合同会議にのぞむ議案について、本年決定されたが、詳細については追って掲載する。

財団法人

北蒲原郡豊浦村大字大王の市島家は、徳川初期以来、下越に世代を重ねた北越第一の家業、旧家であるが、本年十一月、当主徳昭氏、後見成二氏等発起人名で、敷地約三千坪、建坪約八百坪の天王本邸を専用財産として、公共に寄附し、財団法人徳志会を設立した。十一月十九日、関係者、知名人多数が参集して発会式が行なわれた。同家は水原町天朝山の旧宅が火災で焼失後、現天王の地に、移住して、主屋は明治五年に築造されたものである。庭園、本宅、数寄屋大広間等、広く観覧、集会に開放し、一般の利用に供することにも、各種の文化事業を通じて郷土の振興に尽そうというもので、求全閣、観覧料五十円、徒歩十五分、新潟交通バス新編一月一回行 (尾)

継志会が発足

北蒲原郡豊浦村大字大王の市島家は、徳川初期以来、下越に世代を重ねた北越第一の家業、旧家であるが、本年十一月、当主徳昭氏、後見成二氏等発起人名で、敷地約三千坪、建坪約八百坪の天王本邸を専用財産として、公共に寄附し、財団法人徳志会を設立した。十一月十九日、関係者、知名人多数が参集して発会式が行なわれた。同家は水原町天朝山の旧宅が火災で焼失後、現天王の地に、移住して、主屋は明治五年に築造されたものである。庭園、本宅、数寄屋大広間等、広く観覧、集会に開放し、一般の利用に供することにも、各種の文化事業を通じて郷土の振興に尽そうというもので、求全閣、観覧料五十円、徒歩十五分、新潟交通バス新編一月一回行 (尾)

全国大会特別講演要旨

戦後新しい六・三制が施される。毎年、高校生を七十人程度アメリカの家庭に預かってもらう留学生として派遣している。彼等が帰国して真先に語るのはアメリカの家庭的愛国的なことである。私も先に欧米旅行の際、ハワイに立寄った時、その有名な美しい青空に星条旗がはるがえりてゐるのを見たし、ホテルにおいても折からの大統領選挙で来島した二クソンのために空が小旗でかざってあるのを見た位である。さらに驚くべきは、この愛国的な考え方は共産陣営の諸國にも非常に強いことである。

私には中共視察団に入つて中国をも、わすかな地域をのぞいて政府

不幸にして日本では、祖国愛なれる事件があった。この時をかえりみて尾崎氏がいうには「私が文相をやめると発表した晩、自筆にその時の教師の中の何人かがやつてきて実にお氣の毒だ、あなたの話の内容はそんなことではなかったのに……」と云つて帰つたが、私として見れば文部大臣をやめたことにより中学校の教師ともあつて

私はこの話にあるようなことが現在にも通用するまじいと思われるのである。

見てきたがそこにおいてもアメリカ力以上の愛國教育が行われているのを見出したのである。

わが国教育界の動向

文部政務次官 長谷川峻氏

不審にして日本では、祖国愛なれる事件があった。この時をかえりみて尾崎氏がいうには「私が文相をやめると発表した晩、自筆にその時の教師の中の何人かがやつてきて実にお氣の毒だ、あなたの話の内容はそんなことではなかったのに……」と云つて帰つたが、私として見れば文部大臣をやめたことにより中学校の教師ともあつて

私には中共視察団に入つて中国をも、わすかな地域をのぞいて政府

不幸にして日本では、祖国愛なれる事件があった。この時をかえりみて尾崎氏がいうには「私が文相をやめると発表した晩、自筆にその時の教師の中の何人かがやつてきて実にお氣の毒だ、あなたの話の内容はそんなことではなかったのに……」と云つて帰つたが、私として見れば文部大臣をやめたことにより中学校の教師ともあつて

私はこの話にあるようなことが現在にも通用するまじいと思われるのである。

見てきたがそこにおいてもアメリカ力以上の愛國教育が行われているのを見出したのである。

これは父兄の教育熱心と先生の聖職意識によつてきたのである。一口に日教組といふが實質は五十五万人の組合員がわすか三千人の極左分子に引かれてゐる結果なのである。昔尾崎行雄が文部大臣

私には中共視察団に入つて中国をも、わすかな地域をのぞいて政府

不幸にして日本では、祖国愛なれる事件があった。この時をかえりみて尾崎氏がいうには「私が文相をやめると発表した晩、自筆にその時の教師の中の何人かがやつてきて実にお氣の毒だ、あなたの話の内容はそんなことではなかったのに……」と云つて帰つたが、私として見れば文部大臣をやめたことにより中学校の教師ともあつて

私はこの話にあるようなことが現在にも通用するまじいと思われるのである。

見てきたがそこにおいてもアメリカ力以上の愛國教育が行われているのを見出したのである。

日本が戦争に破れた不幸中の幸ひは國土が分断統治されなかつたことである。ドイツ、朝鮮、ペトナム、など分断の悲劇は多いのである。ベルリン市では道路の真ん中に線を引きそれが東西の境界になつており市民は生活に大不便を

私には中共視察団に入つて中国をも、わすかな地域をのぞいて政府

不幸にして日本では、祖国愛なれる事件があった。この時をかえりみて尾崎氏がいうには「私が文相をやめると発表した晩、自筆にその時の教師の中の何人かがやつてきて実にお氣の毒だ、あなたの話の内容はそんなことではなかったのに……」と云つて帰つたが、私として見れば文部大臣をやめたことにより中学校の教師ともあつて

私はこの話にあるようなことが現在にも通用するまじいと思われるのである。

見てきたがそこにおいてもアメリカ力以上の愛國教育が行われているのを見出したのである。

死命のびたといつてゐるのに、オリンピックなどの成績の好くないことは見るにたえないものがある。それは精神のがんばりのなからが原因だと思つたのである。私は常にリクリエーションの中からオリンピックの勝者は生まれないといつてゐる。ドイツもイタリアもローマでは立派な成績を挙げているのである。日本もやればできるのである。体格も強つた。昔の日本人が二段の大会に連続優勝し三段および三段勝つてゐるのだ。何とか日本人の魂をよみがえらせたいと願つてゐるものである。

私には中共視察団に入つて中国をも、わすかな地域をのぞいて政府

不幸にして日本では、祖国愛なれる事件があった。この時をかえりみて尾崎氏がいうには「私が文相をやめると発表した晩、自筆にその時の教師の中の何人かがやつてきて実にお氣の毒だ、あなたの話の内容はそんなことではなかったのに……」と云つて帰つたが、私として見れば文部大臣をやめたことにより中学校の教師ともあつて

私はこの話にあるようなことが現在にも通用するまじいと思われるのである。

見てきたがそこにおいてもアメリカ力以上の愛國教育が行われているのを見出したのである。

この問題についてP・T・Aからでもどこからも激励の力がき一枚もつてゐないが私はがんばつてもいい。こういうことこそ新しい保守党がやるべき政治だから……。諸氏の強力なバックアップを期待するのはこのためである。

私には中共視察団に入つて中国をも、わすかな地域をのぞいて政府

不幸にして日本では、祖国愛なれる事件があった。この時をかえりみて尾崎氏がいうには「私が文相をやめると発表した晩、自筆にその時の教師の中の何人かがやつてきて実にお氣の毒だ、あなたの話の内容はそんなことではなかったのに……」と云つて帰つたが、私として見れば文部大臣をやめたことにより中学校の教師ともあつて

私はこの話にあるようなことが現在にも通用するまじいと思われるのである。

見てきたがそこにおいてもアメリカ力以上の愛國教育が行われているのを見出したのである。

この問題についてP・T・Aからでもどこからも激励の力がき一枚もつてゐないが私はがんばつてもいい。こういうことこそ新しい保守党がやるべき政治だから……。諸氏の強力なバックアップを期待するのはこのためである。

私には中共視察団に入つて中国をも、わすかな地域をのぞいて政府

不幸にして日本では、祖国愛なれる事件があった。この時をかえりみて尾崎氏がいうには「私が文相をやめると発表した晩、自筆にその時の教師の中の何人かがやつてきて実にお氣の毒だ、あなたの話の内容はそんなことではなかったのに……」と云つて帰つたが、私として見れば文部大臣をやめたことにより中学校の教師ともあつて

私はこの話にあるようなことが現在にも通用するまじいと思われるのである。

見てきたがそこにおいてもアメリカ力以上の愛國教育が行われているのを見出したのである。

予 告

全国大会には病氣のため欠席した荒木文相が、さる十月一日長岡市大正大学視察のため来県した。県公庫では、その全国大会決議をひきつれて陳情団を特派し、陳情した詳細は新年号に特集する。

公民館はどうあるべきか

レポ ー ト

第10回全国大会より

分科会で話し合われたこと

第一分科会 (参加者二〇名)

都道府県教委、県公連関係者

分科会の構成がなされたが、4つの関連が必要で、新市町村振興計画からこの分科会の中でそのことを論議することになった。分科会については、町会者、助言者を通じて、特に大田市の公民館が低調であること。農家の長男も就職して農家の所得格差、新しい農業経営、これらの現状をふまえて、青年教育と併行しての成人教育が必要で、企業体にする学問活動の問題などについて論議した。討論の進め方を進め、農業基本法など社会情勢に對しての理解が職員にも徹底で、併せて職員の資力向上が課題になり、公民館の交わり方について、農村での産業構造の再編のための青年の労働力の調査か、奨励の統一

研究討論のテーマ

- 1 公民館の現状は地域社会の姿ほかに即応しているか。
- 2 設置基準に達しない施設・設備および職員の現状をいかにして打開するか。
- 3 公民館の事業はいかなるものを行い、何をすべきか。
- 4 公民館と他の行政機関・施設および諸団体との関係をどうした方がいいか。

第二分科会

市街地の公民館職員

公民館が地域社会の姿ほかに即応することを阻害するさまざまな条件を振りまき、その解決策を見出すことが第一に必要であるといふことから、設置基準に達しない施設設備および職員の現状を如何に打開するか都市公民館の事業内容は、いかにあるべきか等について討論を行なった。

前者については、公民館の設置者が市町村であるから、市理事者あるいは市議会に對して公民館人等が一致してその認識を得るために働きかけを行うことが必要であると同時に、公民館活動を通じて地域住民の認識と理解を高める努力を続けること、文部省当局に對して次の事項を要請する動議を、明日の全体会議に提出することを全員一致で決定し、その早期実現を

タウンで利用されない公民館、あっても形骸だけで内容がない公民館、社会の交感の中で、公民館がとりこぎられ、例えば企業家のクリエーション施設、レジャー施設などに利用される傾向になる。近視眼的な見方ではなく、総合的な見地からの書き真が必要である。四〇〇館の補助申請があっても八〇館余しか補助がおりない現状では、相当な努力をしない限り社会の推移についてゆけない。農業法人化協業化が進んできている現

- (1) 地方交付税算定基準の改正を要求する
- (2) 公民館長の常勤と、その給与は義務教育費国庫負担法に準じて取り扱うこと、財政的措置を講ずること。
- (3) 公民館職員の身分を教育専門職とする。
- (4) 公民館建設について単独で償とその他の増大及び国庫補助の増額。
- (5) 公民館施設の災害復旧について国庫補助恒久法の立法措置を早急に実現すること。

状態で、特に農林行政も公民館活動に依存するところが多くなってきているので、啓蒙活動がさらに必要にたがし県での施設、設備、補助は既に実施している県もある。市民の意思を尊重して人作りをも積極的な対策を講ずるべきである。青年研修所年金ホールは禁煙専用施設に格上の限界があるので、関係機関の関連、住民の意思に基づいて企画すべきである。たがし国民年金の融資については考慮して欲動を抑制しなければならない。

- (6) 国民年金積立金の還元融資した運動を展開し、併せて全公連事務局の強化をはかり、これの財政的裏づけを確立することに意図的一致をみた。後者については、都市における勤労青少年教育特に社会事業所で行われる学習活動が盛んになってきていることに対し、

都市近郊の公民館職員

司会者から都市近郊の現状について説明があつて、資料に基づいて内容の配列に従つて討論が進められていた。

内容 (1) 公民館の現状は地域社会の姿ほかに即応しているか。まず都市周辺の農村地区の姿ほかに即応しているか。二、主部を整備あるいは都市計画に従い中小小場の誘致および青年の都市への移動等により農家の経済状態の向上、生活様式の

の基準であるからこれ以下の施設階での基準作成は考えられない。たがし県での施設、設備、補助は既に実施している県もある。市民の意思を尊重して人作りをも積極的な対策を講ずるべきである。青年研修所年金ホールは禁煙専用施設に格上の限界があるので、関係機関の関連、住民の意思に基づいて企画すべきである。たがし国民年金の融資については考慮して欲動を抑制しなければならない。

- 変遷等による従来の公民館活動では、青年学級の後退、婦人学級の退歩、団体活動の弱体化等により、公民館活動が非常に困難な状態に追い込まれている。従つて階層別意識調査を行なうことによつて総合社会教育計画が必要でなかろうか。

公民館としてどう対応して行くかという点でその学習活動の進め方について次の様な具体例が出された。

- 一、一般教養としては高度なものをはたして、主として仲間つくりを重点を置きレクリエーションを多くとり入れる。
- 二、職業教育としては、機械の一般的知識概念など、いわば職業教育以前の準備教育という考え方で無理のないように進める。要するに公民館は、セクト主義にならないことを心がけ、必要とする機能を発揮するために、まず条件の整備が先決であるが、他に利用し得るものがあれば、それを積極的に利用して行くという態度でのぞむ必要があるというような点が主として話しあわれた。

あるいは主婦努力がその間にまわ流れて行き婦人団体の組織が消滅し、公民館活動の対象がなくなりつつある現状である。

次に都市周辺の農村地区については、一、統々とできる団地については都府住宅の設置に伴い人間関係が個人主義に流れ公民館がこれら対象をどうとらえるかという大きな問題に直面している。

二、これらの問題について解決策を考えているが昼間人口と夜間人口との相違、職員の不安定、職階による気兼ね等により公民館活動の対象として支障を来た

進展する現代社会の中にあつて

している。更に全体的な問題として、
 イ、社会の變はるは経済面と共に思想面の変はるについても考えなくてはならない。
 ロ、社会の變はるに即応しているかの問題については「即応しては」即ち「過去の」過去の考えや事業などがどのように變はるべきかに對しては、十分な準備がなされていないか、という問題がある。變はるべきとする社会においてその場だけの變化にとらわれていたのでは効果が上がらない。私たち自身が變はるべきことに取組んでいるか問題である。

る」の点が強調された。
 ②の設置基準に達しない問題
 ③事業④他の機関、施設、団体との関係については、
 イ、公民館は社会教育を進めるための条件整備の場であり、社会教育には公民館はいるまいという考えは違つてはならない。

これに對して
 ロ、公民館活動は住民の意志にそつて行なわれなければならない。助言者よりこれからの公民館の理想的条件整備だけでは、都市形態をとること。・余暇の盛り上がりが必要ではなならない。との反論があつた。

第四分科会 (参加者約三〇〇名)

農山漁村の公民館職員

積み上げ方式の各ブロックに對して研究協議された。進展する公民館活動は遅れてはならない。おきか現代社会の中において公民館は「現代社会の中において公民館としての批判もなきかあるべきか」のテーマに對して、一面施設もなく設備も不十分、職員組織も予算も十分でない公民館が、どうして追いついて行かなくてはならないか、という結論には、この目まぐるしい世もきかれ、永杉先生から「人を



【写真は第一分科会々場】

善用に結びつくこと。・個々の人につながらること・マスコミを利用すること。・内容の高度化をはかることなどが助言された。

集めて行なうという社会教育のこれからの常道から一歩進め、生活のひたに入ることに必要性について助言を頂いた。
 ついで第二の内容、現状打開の方策については、この水杉先生の助言から、施設も職員も予算も不足な、まして機動力が有すべくもない公民館として、どうして生活のひたに入るかとの問題から、内容と設備施設等の間のアンバランスをどう調整するか、という問題が

第五分科会 (参加者約四〇〇名)

市の教委関係者、理事者

工場誘致を中心に大きく變はるつてきています。公民館活動は再編成期にきています。
 文化会館建設などがさかんになされ、公民館のはたきについて、は、とくに理事者間などにおいて、あまの考えられていない。
 施設、設備については昨年大会の中心問題であつた。これを現状発表にだけにとどめるのではなく、一歩進めて公民館独立法の運動を具体的に進めてゆくべきだ。郡市、県連などにおいても、実態調査などをもつて計画的科学的な設備計画を進めるべきだ(石川県等の五カ年計画の実例が発表された)

公民館の事業とされ、先生から、今こそ勇氣をもつて政治教育に突入り、成人教育の壁をつき破るときではなかつたか、との助言があつた。
 各種団体、機関がかり乱れて教育活動をなっている現在、公民館としてどのようにとの間の連絡調整を図るか、については、公民館運営審議会の活用と公民館だけを中心とした連絡調整ではなく、町当局、教育委員会との三者一体となつての連絡と調整、ひいては協力にまで高めて行くことが重要であらうとの話し合いがなされ、以上テーマを四つに分けての話し合いを終了した。

マとなつた。公民館の事業とされ、先生から、今こそ勇氣をもつて政治教育に突入り、成人教育の壁をつき破るときではなかつたか、との助言があつた。
 現在の事業についての反省を行なつて、公民館活動の必要性を痛感しているのは公民館関係者ばかりではないのか、という自己批判の中から住民に支えられた公民館活動として、それ自体を高めて行くことが必要であらう。上の二点が話し合われた。
 ではそうした現状の中にある公民館として變はるべき地域社会に即応し、どんな事業を行なつたら活動を進めるべきではなかつたか、との話し合いがなされ、理事者

職員の問題については、主事の身分保障が完全でなく、そのため活動に多くの支障のある事例が出された。
 職員の身分保障のためにも公民館として努力すべきことが多い。
 主事の仕事の量、勤務の状態などをよく調査して理事者の理解を得るような作業を自身の問題としてやるべきだ。
 公民館事業については事例にもとづいて話し合われた。郡市青年団体にパーティを入れて、近代性をもたせたものもある。たまたまには雑多な職種のため、学習のすしをどう通してゆくかが問題である。ここで考えられ実施されているものとして、
 一職種別青年学校、などのほか関係団体の事業などにウェイトをおくこと、があげられた。郡市部においては特定対象を専門分化して行く方法、職業訓練所との結びつきによる活動が考えられる。農村地帯においては特定対象をとらえず、総合的な事業を行なうべきである。要は今後の概念にとらわれないで教育をもっと広い立場でとらえる必要がある。青少年教育一つを考え見ても、単に青少年対策としてとらえられなくなつた。大企業では企業内の学習場があるが、それのない中小企業従事者はどうかを考えるとき、公民館がこれを支えるべきではなかつたか、と問われる。こうなると公民館は中小企業対策としての青少年教育

を考へてゆかねばほんとうの事業はなつたてなかつた。
 公民館の機能の中で一番弱いのが施設、設備の面である。これだから前のように文化会館ブームが出る。他行政との連絡機能も社会的な進展に即応する公民館の機能になつてはなならない。
 活動が分化されることは必要だが、分化されたままバラバラになつていくから問題だ。これから何が重要であるかを見きわめてゆくべきであらう。ボランティア組織についても研究してみよう。教育行政の独自性といふことは大切な行政との連携の中でその独自性が大切になってくると思ふ。
 社会教育と社会福祉の兄弟な統一人に社会の進展があるといふよう

を考へてゆかねばほんとうの事業はなつたてなかつた。
 公民館の機能の中で一番弱いのが施設、設備の面である。これだから前のように文化会館ブームが出る。他行政との連絡機能も社会的な進展に即応する公民館の機能になつてはなならない。
 活動が分化されることは必要だが、分化されたままバラバラになつていくから問題だ。これから何が重要であるかを見きわめてゆくべきであらう。ボランティア組織についても研究してみよう。教育行政の独自性といふことは大切な行政との連携の中でその独自性が大切になってくると思ふ。
 社会教育と社会福祉の兄弟な統一人に社会の進展があるといふよう

全国大会パネル討議より

公民館は新生活運動、公明選挙運動、貯蓄推進運動などの国民運動をどのように展開したらよいか

司会 宮城県本吉町公民館館長 朱崎守春三氏
 講師 新生活運動協会副会長 安積得也氏
 公明選挙運動副議長 嘉治隆一氏
 貯蓄推進中央委員会 中山喬二氏

司会 これら三つの運動が、はたして国民運動として盛り上っているかどうか。高揚運動的なものの上で考えられることもあると思うが、この点について

嘉治 現在の政治は、国民生活がまるとりり離れてしまっている。政治家をもっと生活の場の中に引きこめ、生活と政治との密接な結びつきを保たなければならぬ。生活と政治を結びつけるポイントには選挙である。だから、選挙のとき、生活と結びついた政治家を選ばなくては、それは、日常の生活の中でよく認識しておく必要がある。

公民館は、生活と政治と選挙を結びつける運動の一つの拠点

として協力願いたい。

安積 「国民運動とはどういうことなのか」を考えてみたい。国民運動は、決して政府がひきする運動ではない。国民運動とは、一口に言っても「国民の国民による。国民のための」運動であると思う。この考え方は次第に理解されつつはあるが、例えば、公明選挙運動にしても、有権者がみんな互に力をもちよ話し合って追求する集団活動が新生活運動であると考えられる。そして、この両者は幸福を追求するという同一基盤にたっている。どこで、どのように結びつくかという点については、その目的方法などが国民が主体となっており、公民館がそれをより上げてゆき、その結びつきのあるところ「善は空のかなほにたずもった王冠をかぶせた」という詩があるが、公民館という地味

な謙虚な仕事でも、やがては国民が認めてくれるであろう。

嘉治 公明選挙にはみんな努力はしてきているが、違反は多かった。これは、取崩し当局が強力に摘発してくれたこともあるが、無自覚な政治家がいるというところである。どうしたらよいかという点になるが、取崩しの方を別にしても、もっと、政治教育社会教育の浸透を図るといって、国民として立派な人になることを願いたい。

中山 貯蓄推進運動の目的は、生活を豊かにし、社会を豊かにすることである。西ドイツでは、完全無償で収入も多いが、日本のような消費チームは起らない食物も、着物も美にまつまいる。だから社会資本が充実し、地に立つた発展を示している。我々の生活のあり方を反省せねばならない。

司会 話し合いが活発になってはきたが、その展開について……

嘉治 お互に足りないものを話し合っ、新しい日本の国民として当然考えなければならぬ。司会では、この辺で……

とを話し合うべきだと思う。自分だけが苦勞しているのではなく、他の人も一生懸命やっているのだという気持ちが大切であろう。

安積 「話し合いは必要感から」と言いたい。話し合いは個人の必要感から出発したものでない。ただその場合、話し合いのしかたさ、せむし深い理解があるので、そこへ引きつりこむことに気を付けてほしい。話し合いは、やはり出たとこ勝負でゆきたい。

中山 貯蓄推進のパンフレットには、内容的に新生活のそれと関係があるようだが、生活改善と貯蓄という点よりも、くらしをよくするために貯蓄し、そのために貯金を使うということを言いたい。生活改善という一つの型にとられてしまっているので、個人の生活をよくするために、個人の内容に応じたことをやってみようと思っている。

○ 福島の園田さんをはじめとして大会レクリエーション交歓での女性の活躍が目立った。近い将来、公民館主催の半分が女性というようになるかも知れない。公民館の仕事には、ご知人相手の仕事も多くなった。……そんなら公民館大会も一層はなやかなところになるだろう。(大会速報)

昨年、本県柏崎市の徳間助夫氏が文部大臣を獲得して氣をばいた左記コンクールは、本年からその効果をさらにかためるため、新しい方法より実施することになった。応募者は一月中旬までに県公連事務局あてに力作をお寄せいただきたい。

☆公民館活動実践記録の募集と研究集会の要項☆

主催・全公連、後援・文部省、日本放送協会

一、趣旨

社会教育の中心施設としての公民館の活動を適切ならしめるため、「特選」一名を選定(二位以下の入選者数は適宜)するものとし、創意工夫をもとく実践の成果を集め、その発表を中心として研究集会を開く。

二、実践記録の募集

(1) 下記の研究テーマに対する研究と実践の成果をまとめたレポート(録音テープ、映画スライドでもよい)を募集し、適切と認められるものを選定して表彰すること。研究集会で、発表を求めるもの、研究発表の結果を調査して入選者若干名を選び賞状を贈る。

(2) 研究テーマ

公民館における青少年教育の実践
 ラジオ、テレビを利用した公民館活動

(3) レポートの作成要領

研究テーマのいずれか一題を選び、その研究と実践の具体的な概要を研究討論のための研究集会を開く。

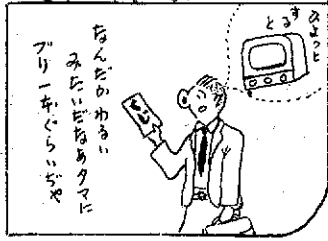
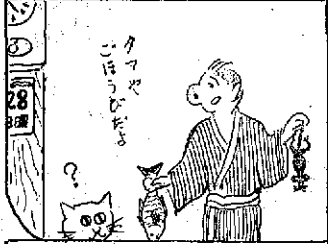
四〇〇字詰め原稿用紙一〇枚以内
 にまとめる。録音テープ、映画スライドの場合は概ね二〇分以内
 二十一日から二十四日まで(三泊に発表するものとし、別に梗概を付ける。

三、研究集会

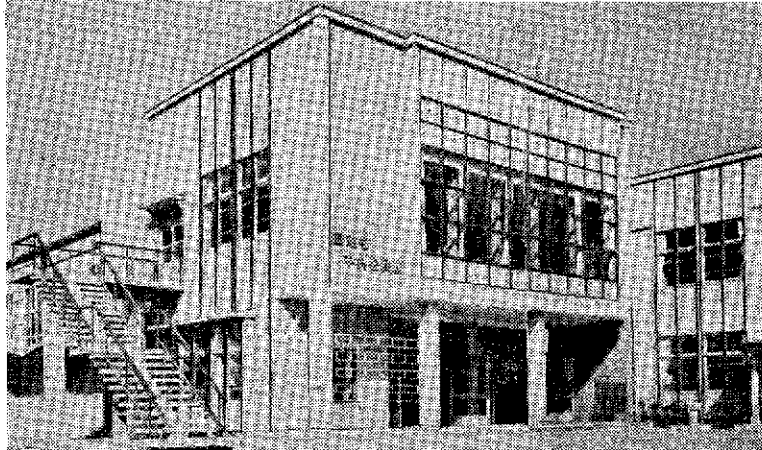
(1) 全国の公民館職員を各都道府県三名以内(内一名は「特選」入選者とし、他の二名は公民館中堅職員とする)の募集を求め、特選に入選した作品の発表を中必ずその研究討論のための研究集会を開く。

とっぴいん

No. 12 うつき・かず



町思う心が建てた公民館



〔写真は施設々備ともに完備した栃木県田沼町公民館〕

公民館訪問

栃木県田沼町中央公民館の巻

住民の手で建てた公民館……

栃木県田沼町中央公民館は、文字どおり「町おもう心が建てた公民館」である。

田沼町は、昭和29年8月、三好、野上、新合、飛駒の四村を合併して、人口3万の大世帯となったが、社会教育のセンターとなる公民館が中央にないため、「合併はしたけれど……」の悩みが大きかった。

そこで、32年4月中央公民館建設研究会が生まれ、町民のための、町民による建設をスローガンに、商工会、青年団、婦人会、学校など、あらゆる関係機関が立ち上がったのである。

とくに、商工会加盟店約300軒が、いっせいに「中央公民館建設協力店」の看板をかかげ、100円以上買物した町民に1円のクーポン券をサービスし学童を通じて「クーポン券回収本部」に持参し、買物をしながら資金をつみあげてゆくという斬新な、しかも効果的な方法をとり、積極的な協力活動を行なった。

このような町民全体の深い理解と協力のもとに、公民館建設の芽が育てられ、昭和38年5月13日、みごとに結実したものである。

しかも、この公民館は、さきに文部省が制定した「公民館の設置及び運営に関する基準」の各条件をほとんど満たしている理想的なもので、今後、本県公民館の発展に大きな役割を果たすものと期待されている。

このように、地域住民の自主的な公民館建設への芽が育ち、結実して、県下に多くの立派な公民館が建設されて、それを拠点として、より明るい郷土がつけられることを念願している。

今後の公民館

新たな要素の必要な

（鳥根県教育委員会「教化」「開放性・社交性がほしい市育広報」八月下旬より）
「これからの公民館」
「これは、公民館の果たす役割は大きい方が、その存在が明確でないキ

「学校教育と公民館活動の連けいを強

いを強化」では、生まれてこのか

た十年を数え、社会の急速な変化

にもなつて町づくり、村づくり

という本質的な点は変わらないま

でも、その形と内容には何分かの

新しい要素が加えられてもよいの

ではないかとしているが、現在の

公民館はそのほとんどが役場など

に寄生しているため、適度な施設

もないところから早急な対策が望

まれている。それととも実際の運営にあた

つてもたな町づくり、村づくりとい

いう輝かしい呼び名ばかりかきま

はつきりさせる必要があると述べ

ている。学校教育と公民館活動と

社会教育とがそれぞれの中で

動分野の中で

マッチする一

公民館構想

○部会の上層や会社へ、農村をあとに出かけていく青少年。あとに残るのはわずかの長男層と病気が頭を悩ませる若者。そのわずかの長男たちも、機械でも買つてくれなければ家を飛び出すと親達をおどかさ。農家の嫁はどのんかという娘たち。農家の生活のおくれと、考え方のおくれにたえられないという。こうなるいきおい老人農業がふえていく。農業の若返りは何か。それは農業の近代化以外にはないだろう。農村の公民館もこうした方向にどうへきものであろう。

○中魚沼郡津南町には八十三の分館があるが、これららの分館がそれぞれその土地に即したさらさらの活動をしている。それらの一つに所支部の分館があるが、これは五十二戸の部落である。分館の重点目標に「部落の民主化。考える農民になろう」の二つをあげて、分館の組織としては、営農改善部、生活改善部、教員部、衛生部、婦人部、青年部と分けて各部が役員と部員と予算を持って活動している。営農改善部の如きは、養豚養鶏の研究から種作の研究等をやっているが、部落の水桶の品種別の作付調査、反当量量の比較、個人別の数量等級の調査等までやって研究している。部落全体が公民館を中心に動いているようにみられる。山の中の小さな部落であるが、テレビが十九台、ラジオが十二台、電民洗濯機が十七台、耕うん機が十七台、水道五十三戸、タイル風呂十五戸。町の公民館本館の指導のもとに数年来、乳牛産の流れる郷土にしようといふ村づくりののたために活動をつづけている。（著者）



迷信打破

狐はラジオをつくれぬ

伊野 宮 秀 雄

「先生様、学校に泊りして、化けつてのことである。ニヤリと笑う物はまた出んかのし」
山の学校に奉職して、しばらくたいて、半分半分の顔で村人が、た

選挙は?

相川町の青リーター諸君が五〇名も集まって「選挙における青年の役割」を話

言 漫 社

部推せん様の模様
話しは田議選の たんですが……」
「みなうなすいた。この方から始められました。村はずれの見張りや、夜警の話まで山

「先生様の前に泊っていた先生様
がのし、夜ふとんが、がえに重
もなてのし、それが化け物
がおきたんだがのし」
これは半ば、おどしてやろうとい
ういたすのし、半ばほんた
「うい心の混合したものであろう
と思つた。その後この信州境のこ
の純朴な村人たちは、かなりの迷
信家である上を知つた。家庭訪
問をする上、大いにお茶を出して
くれる。一ぱい飲み用件をすま
せて帰ろうとする上、必ず、一ぱ
い茶は仲たがいのもたたいつて
無理やりにもう一ぱい飲まされる
努力した。

「みなさんは、狐にたまされた
とががありますが、みなさんが、
よく誰々が狐にたまされたそう
だと聞かせてくれますが、その
もやると、掃蕩の上り下りの所
へさしかかると、お腰の中で、チ
ャボン、チャボンという位である
この「一ぱい茶」の迷信は山村た
けではあるまいが、人間の愚さに
つき添って山村に濃いと聞つた。
これは教育上困つたことだと思
つた。学校でいくつ科学的な教育
をやつたところで、家庭で、この
の純朴な村人たちは、かなりの迷
信家である上を知つた。家庭訪
問をする上、大いにお茶を出して
くれる。一ぱい飲み用件をすま
せて帰ろうとする上、必ず、一ぱ
い茶は仲たがいのもたたいつて
無理やりにもう一ぱい飲まされる
努力した。

底 冷 む る 庵 摩 館

六十八路風(てん)天(てん)既冷ゆる今日(けふ)をわがさ隆の菊に支(し)柱(ちゆう)立(た)し
無(む)精(しやう)つくりの庭(にわ)の白(しろ)菊(きく)をせし花(はな)ほどはなつ高(たか)きかほり
菊(きく)と何(なに)のかはらやちあるをを観(かん)つつ哀(あは)れ勿(な)れつとややくわれば
降(ふ)りしは何(なに)方(か)ワントの雨(あめ)かこさるに鮮(あざ)やかに照(て)るも後(のち)の
庭(にわ)の菊(きく)
菊(きく)に向(む)き菊(きく)はも見(み)えな六十(ろくじゅう)万(まん)カワントの放(はな)射(しゃ)能(に)降(ふ)るラジ
オ(らじお)
死(し)の灰(はい)の強(たか)き雨(あめ)か上(あ)降(ふ)る見(み)れば秋(あき)の日照(に)照(て)るのかがやくこと
人生(にんじやう)の峠(たけ)越(こ)えし美(み)感(かん)をたまたに髪(かみ)にも艶(えん)にも白(しろ)むに
無(む)精(しやう)艶(えん)を今日(けふ)わが別(わか)れをたかたはから「く」なりしを業(わざ)し手(て)な

○ 君 結 婚

大輪(おほりん)に添(そ)って
小菊(こぎく)の楚(しよ)々(じよじよ)とあり
愛(あい)いちぢく
みごのりごと四季(しき)に
秋(あき)灯(とう)下(げ)しをさもしろし対(たい)湯(ゆ)のみ
新(あたら)しものみな赤(あか)し秋(あき)灯(とう)
愛(あい)は纏(まと)しみかんの
付(つ)きも日(ひ)と其(その)
クリームの今日(けふ)から
妻(つま)の腹(はら)にあわせ
化粧(けしやう)するしつらから
ネスタイを映(うつ)
栗(栗)のしやさるを
夫(おとこ)の手(て)をかき
世(よ)情(じやう)なれしたる福(ふく)草(くさ)が咲(さ)き
妻(つま)ありき日(ひ)は輝(かがや)く日(ひ)といふ

せんが、子供や孫にだけは教
ないでくださいよ」
このまじな意味のこと話した。
また、村人の家を訪問して帰る時
に「一ぱい茶では……」
とやられると、すかます
「いや、もう結構です。仲たが
いなるもあるもんですか。
え、心配ですって。何の、二
三日中(さんじつちゆう)にきて来て、残(のこ)りの一
ぱいをいただきますよ。縁(えん)つな
ぎに「一ぱい」残(のこ)しておいてくださ
いよ」
なごもいって、さかんに迷信打
破(た)つておめたものだ。
迷信打破(た)もこんな身近(みぢか)な、
しかもかさなるともから、片(か)づ
けていくことが、よいのではな
らうか。(高田(たかた)市(し)立(た)天(てん)和(わ)小(こ)学(がく)校(がう)長(ちやう)
高田(たかた)市(し)利(り)田(た)公(こう)民(みん)館(くわん)連(れん)帯(たい)委員(いん))

「あわれむようになったら、
或る女子会員からこんな意見
がとびだした。
「私の選挙の体験を話してみま
しあつた。会場は
君の名ホナル、日
は土・日の、泊二
町長選挙の時は、自分一人でき
た、女の会費を
交えての研修会
したから、心から
楽しんでました。
「たけと結局は私の考えをまめ
話して田議選の たんですが……」
「みなうなすいた。この方
から始められました。村はずれ
の見張りや、夜警の話まで山
多(おほ)くの者の実(じ)験(けん)ではなかつた
ましたし、股(また)々(た)つたこと話(わ)すも最後(さいご)には「自分の考えを決
やり方(かた)でやつたのです。」

同居か別居か

青年たちが「同居か別居か」というテーマで討論会をもつた結婚生活に入る時、親たちと同じか、別居がいいかというのです。
「本当(ほんとう)は同居(どうきゆう)賛成(さんせい)なのに、別居(べつきゆう)賛成(さんせい)と言(い)わねえん。嫁(よめ)にもら
い手がなかなんと困(こ)る」とい
う青年(せいねん)の方もいました。反(はん)対(たい)意見(いけん)のものでも、自分(おれ)たちの
組(ぐみ)の意見(いけん)を主張(しやうちやう)して主(しゆう)張(ちやう)し合(あ)う
やり方(かた)でやつたのです。

- ① 同居賛成者の意見
経済的だ。生産性が高くなつて家計が豊かになる。
- ② 伝統的な美風(びふう)の「家庭(かてい)の和合(わがは)は尊(たう)いものがある。
- ③ 社会(しやかい)通念(つうねん)として、別居(べつきゆう)を評(ひやう)されたない。現実(げんじつ)を知らんのか
- ④ 別居(べつきゆう)支持者(しやうじ)って、あと五(ご)年(ねん)たつて見(み)よ、みんな同居(どうきゆう)賛成(さんせい)者(しや)にかわるんだから。
- ⑤ 別居(べつきゆう)賛成(さんせい)者の意見(いけん)
同居(どうきゆう)は青年(せいねん)全(ぜん)員の理想(りやうきやう)だ。
- ⑥ 肉(にく)身(みん)関係(かんけい)の殺(ころ)人(にん)なまの統計(ていけい)計(けい)からみても、同居(どうきゆう)はすなわし。
- ⑦ 我々(われわれ)は、自由(じゆう)を謳(うた)歌(か)、生活(せいかつ)賛成(さんせい)者(しや)も、反対(はんたい)者(しや)もみんなうなすいてた。(S生(せい))

どうみても別居(べつきゆう)が断(た)然(ぜん)リ(り)ド
するんです。同居(どうきゆう)はタジタジで
した。みるどころ、全(ぜん)員(いん)別居(べつきゆう)賛成(さんせい)
成(せい)かみえました。ところが最(さい)後(ご)に、今(いま)度(ど)は個人(こじん)個人(こじん)の本(ほん)当(とう)の
意見(いけん)を無(む)記(き)名(な)で投票(とうひやう)することに
なりました。その結果(けいこ)別居(べつきゆう)賛成(さんせい)
者(しや)が四五(四五)名(な)もありました。これ
は何(なに)を物(もの)論(ろん)つてゐるのですしやう

全国(ぜんこく)大会(たいかい)が終(お)つてもひととき
入(い)れる間(ま)もない仕事(しごと)としての毎(まい)
日(にち)です。應(おう)答(た)件(けん)理事(り)事(じ)も荒(あ)波(な)し
ぐく越(こ)海(かい)取(と)をヒストンのこと
く往復(わうふく)、エネルギッシュな活(か)動(どう)
を続(つ)けていられます。
× ×
新年(しんねん)号(ごう)はいつでも早くお手(て)元(げん)
におどろけしつと追(お)いつかけて編(へん)
集(じゆう)中(ちゆう)です。こころもあつたて
いへくもありませんが、どう
ぞよいお年(とし)を指(さ)揮(き)えんたさ。
(清(せい))

